

事務事業名 少年補導員会事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：672

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-21-555
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
少年補導員会			筑紫野市青少年指導員と連携して、少年非行の防止のため、各地域の巡回活動等を行なっている。総勢25人（中学校区を1グループとし、3～7人で構成。） <少年補導員の主な活動> ・中学校区での補導活動 ・筑紫野警察署との連携補導活動、 ・不審者対応への啓発活動 ・立ち入り調査等の環境浄化活動 ・筑紫野市青少年指導員と連携した夜間補導一斉パトロール ・成人式の見守り活動						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫地区（特に筑紫野警察署管内の太宰府市）の少年補導員会と連携・協力し、補導活動必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
検挙補導総数（筑紫野市）		件	35	28	27	31			40
5. コスト									
事業費		計	千円	60	60	60	60		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他 一般	千円	0 60		0 60	0 60		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	852	833	842	60			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		令和4年中の検挙補導総数は、昨年より若干減っている。コロナ禍を経て感染対策に配慮した新たな活動方法について模索しながら、今後も少年補導員にしかできない地域に密着した活動を自主的に行っていけるよう支援する。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
中学校区毎における自主補導、筑紫野警察署との連携補導活動、不審者対応への啓発活動、立ち入り調査等の環境浄化活動を行っており、筑紫野市における少年の非行防止の重要な役割を担っているため、支援を継続していく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
青少年の健全育成と非行防止を目的とする、少年補導員会活動の支援を行うことを目的とする。青少年を取り巻く状況が、年々厳しくなっていくなかで、少年補導員の活動に対する要望は高まっている。					平成27年度、白いポスト廃止。 平成28年度から、負担金相当60千円のみ補助。				